

復興記念館について

1922(大正11)年、東京市は陸軍被服廠の移転に伴い、跡地を買収し公園の造成を進めていました。その最中に発生したのが、翌1923(大正12)年の関東大震災でした。このとき、周辺の人々が被服廠跡に避難しましたが、運び込まれた家財道具を伝って火が広がり、38,000人以上の死者が出ました。

東京市では、これらの遭難者の霊を供養し、さらに東京を復興させた大事業を記念するために、公園内に震災記念堂(現:東京都慰霊堂)と震災復興記念館(現:東京都復興記念館)を建てました。

1931(昭和6)年に開設された復興記念館には、当時の状況を伝える絵画、写真、図表、震災の記念遺品などが展示されました。

その後、第二次世界大戦の空襲により焦土と化した東京でしたが、再び復興に向けて立ち上がり、今日の繁栄を築きました。

復興記念館では東京空襲の歴史と当時の状況を伝える写真、図表などの展示と共に戦災復興に向けた取組みも紹介しています。



設立 / 1931(昭和6)年8月18日開館
延床面積 / 1,177㎡
構造 / 鉄筋コンクリート造

Access



- JR総武線両国駅
西口より徒歩10分
- 都営地下鉄大江戸線両国駅
A1出口より徒歩2分
- 都営バス【都02】【門33】バス停
「石原一丁目」より徒歩1分

入館料無料

※職員による館内ガイドや身障者用駐車場のご利用をご希望される方は、事前にご連絡ください。

住所 / 〒130-0015 東京都墨田区横網2-3-25
TEL / 03-3622-1208(横網町公園管理所)
定休日 / 毎週月曜日(休日の場合は翌火曜日)、12月29日~1月3日
開館時間 / 9:00~17:00(入館16:30迄)

ご来館の皆様へ

- ・展示資料に手を触れないでください。
- ・館内での飲食・喫煙、動植物(ペット)の持込は禁止です。
- ・大きな荷物の持込はできません。コインロッカー(無料)等をご利用ください。
- ・館内での大きな声での会話、携帯電話の通話はご遠慮ください。
- ・未就学児の入館は保護者の方の同伴が必要です。
- ・災害発生等の緊急時は職員が避難誘導を行います。必ず指示に従ってください。
- ・安全・防犯の妨げとなる行為、他の入館者の迷惑となる行為を発見した場合、職員が注意を行う場合があります。

緩む心のねちをまけ
(大正十三年 大震災記念日標語より)

ご来館の記念にスタンプを押してください。

公益財団法人 東京都慰霊協会
<横網町公園ホームページ> <https://tokyoireikyokai.or.jp>



東京都復興記念館

1階 + 屋外ギャラリー

関東大震災の発生から復興

1階展示室には、関東大震災当時の写真、図表、実物資料を展示しています。

また、タッチパネルを操作して資料を閲覧できる震災写真マップ、作文朗読コーナー等、立体都市模型に映像を投影する都市復興プロジェクション、震災に関する動画を上映する映像コーナーもございます。

屋外には「震災記念屋外ギャラリー」があり、建造物の一部や自動車など大型被災物を展示しています。



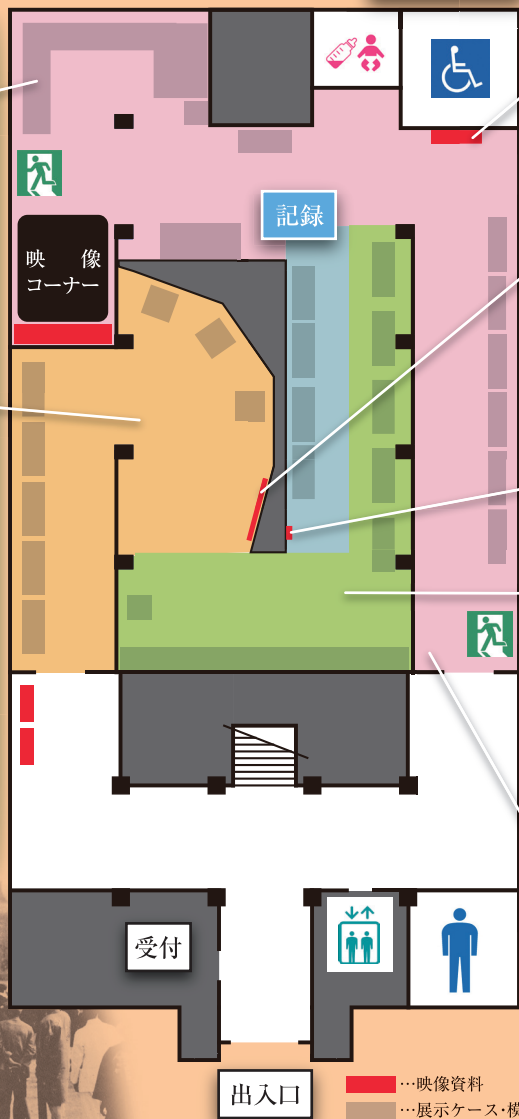
震災の脅威を語る大型被災物



関東大震災の復興事業



震災記念屋外ギャラリー



多目的トイレ

映像コーナー

記録

受付

出入口

…映像資料
…展示ケース・模型



震災写真マップ



都市復興プロジェクション



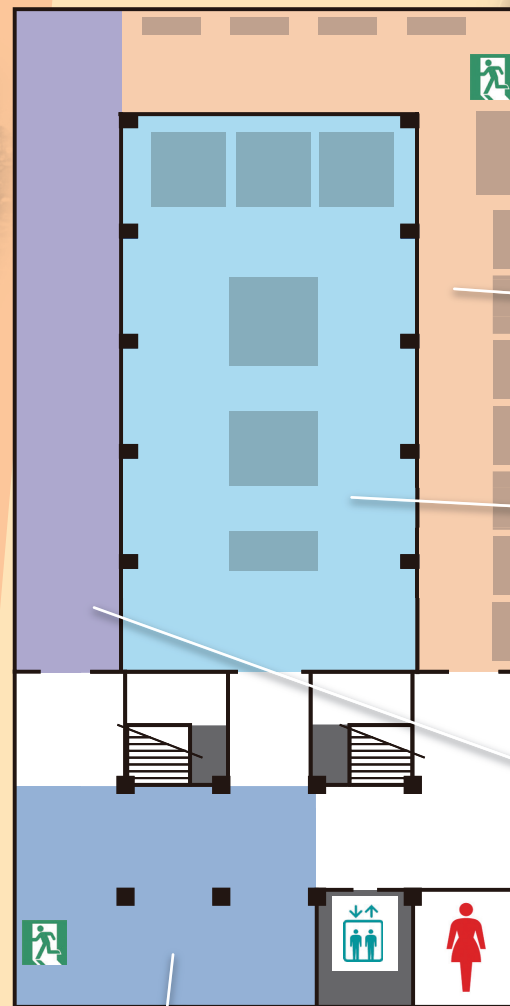
作文朗読コーナー



避難の様子・救援救護活動



関東大震災の発生と被害状況



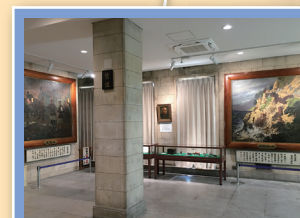
東京空襲に関する展示



中央展示室(大型震災絵画・模型等)



企画展示コーナー



ホール(大型震災絵画等)

関東大震災を描いた絵画・復興大模型 東京空襲・戦災復興に関する資料

2階

2階ホールおよび中央展示室には、関東大震災を描いた絵画や復興大模型を展示しており、「東京市五千分の一模型」の3Dモデル化した動画も視聴可能です。

回廊部分には、東京空襲及び戦災復興に関する資料を展示しています。

また、企画展示コーナーでは関東大震災、東京空襲等に関する様々な展示を期間を設けて行っています。